

# 総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する。	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等			
事業名	生活道路整備（道路改良）事業	事業区分	②
細事業名	米山馬背畑線改良事業		①新規 ②継続 ③その他（ ）
事業主体	市	実施形態	③
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		①毎年 ②隔年 ③その他（ 休止 ）
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 25 年度	根拠法規	①
			①直営 ②指定管理 ③委託
			④その他（ ）
各種の計画への反映（=根拠計画）	市道整備計画	事業ID	21009

3. 事業の内容等			
事業の背景 本路線は、広域農道と主要地方道緒方高千穂線を結ぶ市道であり、本路線沿いにある米山ライスセンターに長谷川、上緒方、南部地区から農産物を輸送する幹線道路である。現状の市道は幅員3.0m以下の狭小であり、大型車の通行は不可能で路肩も弱く維持管理に苦慮している。本事業により、地域の豊富な資源の開発と地域産業の振興を図る。	補助事業	名称	地方道路整備臨時交付金事業
		補助率	国 県 その他 6.5/ 10 1/ 1/
	起債の種類	① 過疎債 ② ③	

事業の目的及び対象 【目的】 地域の拠点生を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 【対象】 市民	事業概要 ○米山馬背畑線改良事業 緒方町冬原 単独事業（過疎） 延長 L=1,000m 幅員 W=5.5(7.0)m 橋梁 1箇所（L=22m）	
	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
	E 維持	

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
	財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金						13,000	150,800
	県支出金							
	地方債	15,000	13,900	休止	休止	休止	6,600	77,100
	その他							
	一般財源		775				400	4,100
	計	15,000	14,675				20,000	232,000
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債	15,000	13,900					
	その他							
	一般財源		775					
	計	15,000	14,675					

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】 改良工事 L=127m	【実績】 改良工事 L=135m 舗装工事 L=180m	【実績】 休止	河川協議については再協議が必要である。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	進捗率						
効率指標	前年度決算額>当該年度決算額 ⇒平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	居住地と全町の生活拠点を結ぶ所要時間（緒方町冬原から緒方町中心部の間の所要時間）						単位 分
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別							所要時間
目標値			休止	休止	休止	14	
実績値			-				
達成率			-				
備考			休止				

# 総合計画／実施計画書 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	緒方町中心部から冬原の間については、幅員が狭小で離合等に支障をきたしているため。				
行政の与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	本路線は市道であるので、道路管理者である市が事業実施をしなければならないため。				
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	事業実施については、市道整備計画を定め計画的、効率的に実施をしているため。また、工事についても、指名競争入札により発注を行っているため。				
事業の果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	平成18年度までの改良工事により、完成区間までの通行の安全性が向上しているため。				
事業の算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	平成19年度から平成21年度の間は、平成22年度以降の本体工事着工に係る協議期間であり、マンパワーによる業務がほとんどであるため、予算措置の必要がないため。ただし、平成22年度以降は本体工事に着工するため、事業費に係る予算措置が必要である。				
人体員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	本体工事は休止しているものの、平成22年度以降の本体工事着工に向けた協議を行う必要があるため。				
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	市道整備計画に基づき、計画的に事業を継続しており、現状を維持する必要があるため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
河川協議が必要なため、一時休止する。					
部長	課長	班長	担当者	内線 2312 E-mail @bungo-ohno.jp	